

アメリカ合衆国大統領
ドナルド・トランプ殿

米国の臨界前核実験に抗議し、核兵器全面禁止・廃絶への努力を求める

貴国政府は、ことし2月13日、あなたが大統領に就任してから二度目の臨界前核実験を実施したことを発表しました。

核戦力の維持・強化をねらった臨界前核実験は、核軍拡競争を助長するものであり、断じて許されません。そうした行為は「核兵器のない世界」の実現を求める非核保有国政府と世界諸国民の圧倒的な世論に背を向けるものであり、いかなる形態の核実験も行わないことを強く求めるものです。

周知のように、2017年7月、国連は122対1の大差で核兵器禁止条約を採択しました。いま、世界の圧倒的多数の国々は2020年の核不拡散条約再検討会議に向けて、市民社会と協力し、すでに合意されている「核兵器のない世界」の実現のために努力を続けています。

あなたは、北朝鮮やイランに対しては、完全かつ不可逆的で検証可能な核の放棄を求めています。しかし、核兵器廃絶の義務は、一部の国にのみ課せられたものではありません。それは、世界のすべての国に課された課題であり、とりわけ国連安保理常任理事国でもある五つの核兵器国は、その先頭に立って努力すべき課題です。

折しも、あなたは被爆国日本を訪問しています。私たちは、貴国の臨界前核実験及び、核軍備増強政策に抗議するとともに、この機会にあなたが被爆者の話を聞き、被爆地を訪れ、核兵器の非人道性について認識を新たにされ、核兵器のない世界のために努力されるよう心から望むものです。

2019年5月27日
原水爆禁止日本協議会
事務局長 安井正和